

お願い・ご報告

- 新年度、スクール22年目がスタートしました。この1年の祝福を祈りましょう。学校法人取得に向けてさらに準備していきます。皆さまのご協力をお願いします。
- 3月28日(土)、山神舞先生とKK先生がご結婚されました。おめでとうございます。皆さんでお二人の祝福を祈りましょう。
- 新年度、NH先生が理科(中学部)、SH先生が英語(高等部)、OY先生が英語(中学部)、KM先生が英会話(小学部)、IS先生が図工・家庭科(小学部)、SJ先生が学習ヘルパーで入ります。
- 新年度、HMさん(小1)、KTさん(高1)、SHさん(高1)、MMさん(高1)が入学しました。よろしくをお願いします。
- 今年度より、まってる昼食の申込は前週の木曜日までをお願いします。当日の追加、キャンセルはできませんので、お気を付けください。
- 新年度にあたり、小中学生は、在籍校へ行って、あいさつと教科書の受け取りをお願いします。
- 日頃より規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠と朝食をとって登校しましょう。健康管理に気を付け、健康で安全に登校できるように、ご家庭のご協力をお願いします。
- 「欠席」「遅刻」の際は、8時35分までに、必ず担任にご連絡ください。また、スクールバスをキャンセルする際は、7時30分までに平野または担任まで、ご連絡ください。
- 持ち物(記名)、提出物の確認をお願いします。また、忘れ物のないようにご協力ください。
- 何かご心配なこと、お気づきのこと、ご質問などありましたら、遠慮なくスクールにご連絡ください。
- 4月18日(土)ミルトスの会(本郷台キリスト教会)主催の「関係に疲れた心をそっとほぐす 講演&ワークショップ」が、SAKAESTA3階で行われます。講師は岡野ジュリ氏(子ども発達支援団体 Daremoga 代表)です。スクール行事が立て込んでいますが、ご興味のある方はぜひ参加してください。
- 5月15日(金)小学部、5月19日(火)中高等部は、5限(13時35分～)に授業参観、6限(14時30分～)に保護者懇談会を行います。保護者の皆さまは、ぜひ参加をお願いします。なお、15日(金)の下校は15時50分、19日(火)の下校は15時30分です。
- 5月のスケジュールをご確認ください
1日(金) 休校(4/18フェスティバル代休)
30日(土) 授業参観・ペアレンツデー(登校日)*代休6/1(月)

今月のみことば(暗唱聖句)

「イエス彼女には言われた。『わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。』」ヨハネ11:25

「Jesus said to her, "I am the resurrection and the life. He who believes in Me, though he may die, he shall live." John 11:25

祈祷課題

- 1、スクール22年目のスタート。神の豊かな祝福があり、新歓行事を通してみんなが安心して学校生活を始められるように。
- 2、スクール関係者が主の愛と恵みに溢れるように。
- 3、徐々に開かれていく学校法人化への道を信仰をもって皆で進んで行けるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 4月号

2026.Apr.1

VO I.223

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神の国はあなたがたのただ中にあるのです。」ルカの福音書 17章 21節 b

校長 月井 博

私は、奇跡に次ぐ奇跡の中を生きてきました。横須賀市の京急大津付近に宣教師と共に生活していたころ、一銭のお金の蓄えもないのに、イギリスの聖書学校に行くことを志し、3か月後無事にその学校に到着しました。2年間の、学びと霊的訓練を終えた後、卒業後は宣教師を志していたので、未開の人々の言語を身につける方法を学ぶことができる、ウィクリフ夏期言語学校に進みました。そこでの、ふた夏に及ぶ学びの費用も、神が不思議に備えてくださいました。その間に神は妻になるべき人との出会いも与えてくださり、学びを終えると直ぐにフランスに渡って式をあげました。その費用と、協力してくれる人々を備えてくださったのも神でした。

ゆくゆく協力して働く必要もあり、自分が受けた言語学校の学びを、妻にも受講してもらいました。先に日本に帰っていた木島先生が、やがて本郷台キリスト教会に落ち着き、その教会の人々の支援によって同じ夏期言語学校のアドバンスコースに送り出されてきて、再会しました。彼から、教会が取り組もうとしていた学習塾の働きへの参加を要請され、受け入れることにしました。妻が言語学の学びを終了した後、妻の所有していた車を売って航空券を購入し、日本に4年ぶりに帰ってきました。4年間のヨーロッパでの生活費を、自分が用意することなく神が備え、支えてくださいました。素晴らしい友人たちが与えられただけでなく、妻も備えられて、祝福とともに日本に帰ってくるのができたのは、神の御業です。今から50年前の話です。

そのようにして日本に帰ってきてからも、神は、奇跡の連続の中で、私たちを生かし、導いてくださいました。このスクール、きっと、誰かが計画立案して、様々な議論を経て、建てられたのだろうな、と想像しているかもしれません。でも実は、神の奇跡なくして、このスクールが存在することは不可能だったのです。今日のように、のあインターナショナルスクールが存在すること自体が、実は、奇跡なのです。機会があれば、皆さんと分かち合いたい体験がたくさんありますが、皆さんは、神が起こした「奇跡の学校」に学んでいるのです。

神の国のいのちを生きる時に大切なのは、自分の身近な人たちとの関係です。神を愛して生きることと、隣人を愛して生きるとは、愛という一つのコインの表と裏です。スクールの友達同士の関係を大切にしましょう。卑屈になったり、また嫉妬したりすることなく、神が豊かに備えてくださる愛の中で、丁寧に、時に慎重に取り組んでいきましょう。神のいのちの言葉である聖書を日々朗読し、その御言葉を自分の心に蓄え、この神に信頼して御業を期待し、隣人と一つになりつつ、隣人を愛して生きる・・・すると神は、私たちに奇跡の人生を生きることを可能にしてくださいます。この、神のいのちを生きる人生を、神はあなたのためにも、用意しておられます。

スクールの新たな年が始まりました。このスクールは学業と共に、神のいのちを体験する場でもあります。このスクールで学ぶ一人ひとりが、この神のいのちを豊かに体験し、奇跡の人生を生きることができるよう、校長として皆さんのために祈っています。神の国はあなたがたのただ中にあるのです。

4月のカレンダー

日	月	火	水
			1日
5日	6日 入学・進級式 (11時50分下校)	7日 クラスオリエンテーション 桂台教室見学(12時下校)	8日 遠足オリエンテーション 防災散歩 清掃・昼食開始(13時30分下校) K先生誕生日
12日	13日 通常授業開始	14日	15日 合同礼拝(1限)
19日	20日	21日	22日 学部別礼拝(1限)
26日	27日 資金作りのための作業手伝い	28日	29日 昭和の日

- ・ 7日(火)～10日(金)は、特別期間となります。配布しました予定表でスケジュールをご確認ください。8日(水)より、昼食開始です。昼食は、弁当持参あるいは“まってる”の昼食が利用できますのでお申し込みください。
- ・ 7日(火)、桂台教室の見学をします。桂台教室とは、昨年度まで利用させていただいた別館(野七里)を引っ越し、新たに桂台南に家をお借りして桂台教室として、主に、小1～小4、クッキングなどで使います。
- ・ 8日(水)防災散歩を行います。クリスタルチャペルのある栄区野七里地域の、災害時避難場所についての全校学習です。
- ・ 9日(木)、新入生歓迎遠足として、全校で、映画鑑賞「キング オブ キングス」を中心に桜木町に出かけます。集合時間など詳細は、別紙「新入生歓迎遠足の案内」にてご確認をお願いします。
- ・ 13日(月)より、通常授業となります。時間割を確認して、持ち物など忘れ物のないように、確認をお願いします。
- ・ 16日(木)は、スタッフ特別支援研修のため、生徒の下校は14時30分です。
- ・ 18日(土)10時～12時、保護者会を行います。月井校長を囲んで、子育てにおいて親が取り組むこと、性教育などについて分かち合います。保護者の皆さまは、ご参加ください。
- ・ 18日(土)14～17時、野七里グラウンドにて「春のふれあいフェスティバル」(野七里)を行います。この日は登校日とし、小5、6は、13時、中高は、12時15分に集合し、奉仕者として参加をします。解散は、小5は16時、小6は17時、中高生は18時頃の予定です。小4以下は、家族・お友達を誘って参加してください。詳細は、後日チラシを配布します。なお、5月1日(金)を代休とします。
- ・ 30日(木)、学部別で新入生歓迎行事を行います。詳細は、各学部より連絡します。
- ・ 自転車安全点検を4月中に行います。自転車通学の生徒の皆さんは、事前に自転車の整備をして点検に臨んでください。
- ・ 今年度、資金作りのための作業手伝いは月1回月曜日に開催します。今月は27日(月)10:30～桂台教室にて。問い合わせは鈴木桜子まで。

木	金	土
2日 Sさん誕生日	3日	4日
9日 新入生歓迎遠足 (本郷台駅集合、解散 ※時間は後日連絡) N先生誕生日	10日 フェスティバルトレーニング スクールイースター (13時30分下校)	11日 Eさん誕生日
16日 スタッフ特別支援研修会 (生徒14時30分下校) Yさん誕生日	17日 委員会活動(6限) Nさん、Eさん誕生日	18日 保護者会(10時~12時) 春のふれあいフェスティバル (野七里グラウンド)14時~17時
23日	24日 クラブ活動(6限)	25日
30日 新入生歓迎行事(学部別)		

子育て note

「謝り合う、許し合う関係を目指して」

私の小学校 6 年生の時に、いつもみんなで相撲をして遊び合う、とても親しい仲間が4、5人いました。ある時、学校帰りに、また相撲をして帰ろうとした時、そのうちの 2 人が、何気ないことの言い争いから、少し厳しい言葉の言い合いになった瞬間がありました。その時以来、その 2 人は一生、互いに会話することはありませんでした。そのうちに、その 1 人は私たちから離れていきました。日本人の文化の中で、許すことや謝ることは、その意識文化の中に根付いていません。でも、このようなことが家庭内の人間関係の中でも起こり得ます。ちょっとしたことが、子供の一生の生き方に影響を及ぼす大きな傷を与えることになったりします。子供の心が傷ついた時、その子は許すことを体験していないので、深く傷ついたまま成長することになります

「許し」が人間関係において一番大切な要素です。特に親子関係で、そのような傷つく体験をしてしまうと、その子の生涯にわたって、人間関係に深い痛手を負うことになります。人の人生は、一番身近な人との関係が、その人の周りの人々と、そして、その後の人間関係の在りようを形作っていくからです。謝ることと許すことは、家庭内の良い人間関係を維持していく上において、とても大切なことです。というのは、家庭こそが色々な意味で、本音でぶつかり合ったり、行き違いがあったり、時に何気なく鋭い言葉が飛び交うことのある場だからです。家庭こそがひとりの人の人生、人間関係の原点であり、温床であり、苗床なのです。お父さんとお母さんの関係が、子供たちの、成長期におけるメンタル状況や感情のあり方に、全て影響を及ぼしていきます。お子さんに謝ることが、できますか。まず、親から、謝ることのモデルになっていきたいと思います。私も、たくさん、子供たちに謝ってきました。

"互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。" エペソ人への手紙 4 章 32 節

校長 月井博